



山吹



うぐいす



ぶな

みなかみ地域エネルギー推進協議会 の基本的立場と方向性

みなかみ町にある地域資源「お宝」を
核に生き生き、喜びに満ちた街を



2014年5月18日

お金 ⇔ 地域の資源最大活用へ

- 3. 11で気が付いた 大規模発電施設の危うさ
- 何かあれば、お金があっても 食料も ガソリンも買えない
- 地域には食料も豊富
- 地域には広大なスペースがあり、太陽による発電も、温水も
- 地域には命を守る水、食糧を生産する水、エネルギーとなる水
- 地域には家づくり、家具作り、紙作り、エネルギー生産の木材
- 木材から 熱も電気も 液体燃料もプラも 化粧品も 薬品も
- 森林は 癒し 森の恵みのキノコも、防火、防災、水源保全



地域にあるお宝の見直しを！ 地域にある資源の活用を真剣に！



生活も生業もエネルギーが無ければ
何もできない時代になっている

エネルギー面からのグローバルトリレンマ

現在はパラダイムの転換点

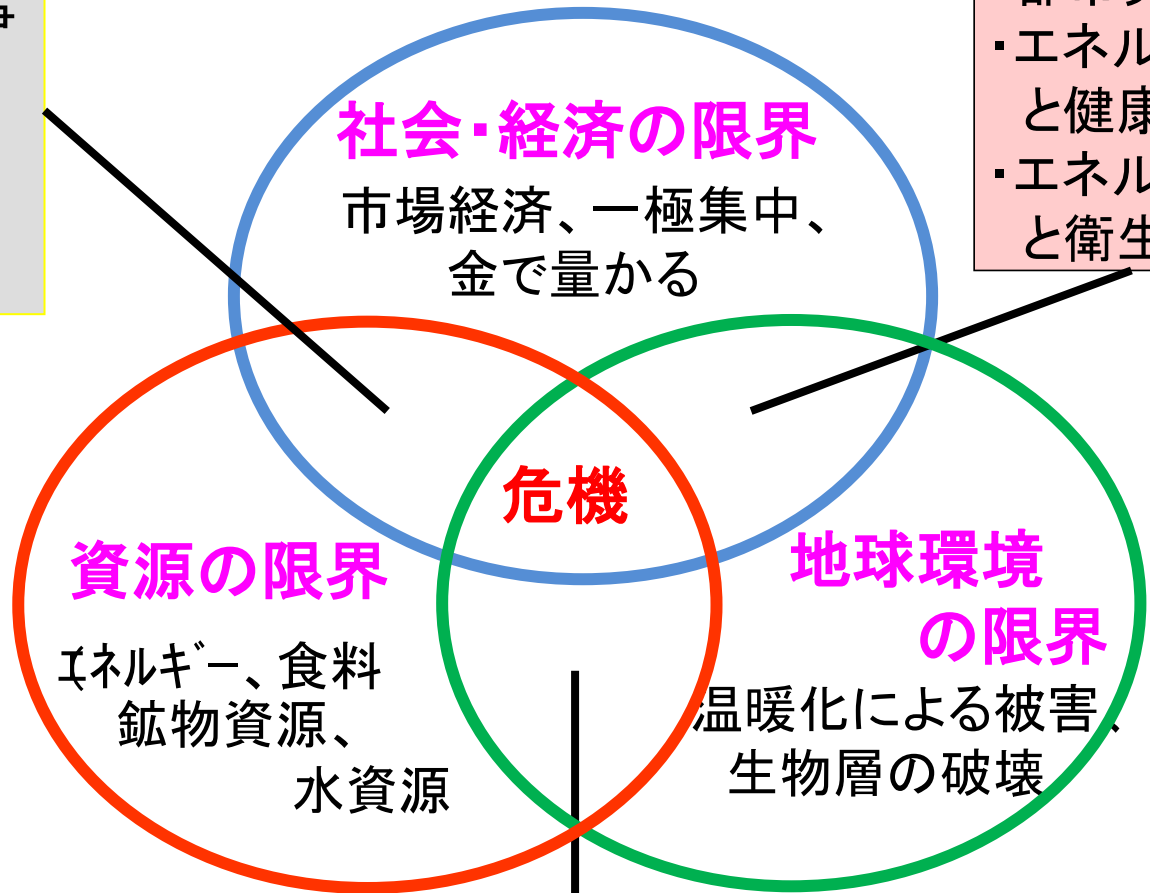
- ・資源、エネルギーの枯渇
- ・エネルギー争奪戦・戦争
- ・エネルギー発掘投入資本の限界
- ・人口問題とエネルギー問題

- ・環境難民
- ・自然災害
- ・都市劣化
- ・エネルギーと健康
- ・エネルギーと衛生

第4の革命へ
⇔地球は有限

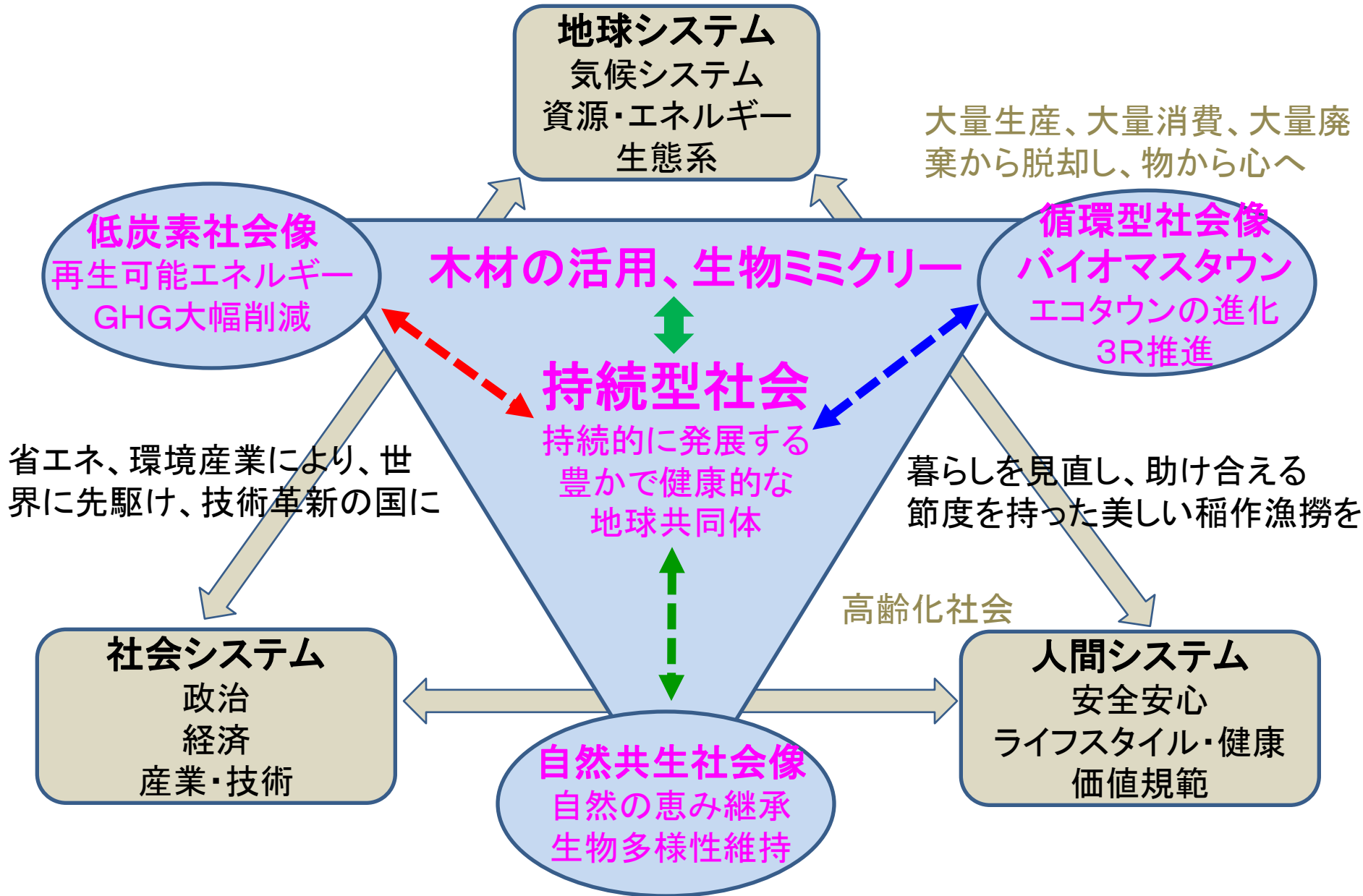
3つの大きな世界的限界に直面

持続不可能な
生産と消費
持続不可能な
資源利用



- ・森林破壊 酸性雨・海洋酸性化
- ・温暖化・オゾン層の破壊・海洋汚染

持続可能な社会を創るには＝3つの社会像の統合を



排除することなく、認め合い、会話し、仲間を作る

基本的立場と方向性

立ち位置：中立、町民と企業と行政の一体的推進、
いつでも、どこでも、話し合い、自助・共助・公助を

方向性：再生可能で、二酸化炭素を排出しないエネルギーを町の
全てへ供給することを目指し、お金を残し、街を元気に！

**地域エネルギー源を核に町の
活力を生み出すうねりへ！**

目標：①温暖化防止と資源保全②国土と水質の保全 ③生物多様性を保全
④地域経済の向上⑤住民参加による地域活性化（地域アイデンティティー）
⑥エネルギー自立・地域分散化⑦生き甲斐・遣り甲斐による地域への
愛着増加（生活文化の確立）

数値：・少なくとも町内の消費熱の50%、消費電気の50%が地場再エネ利用
・少なくともエネルギー施設所有権利の50%とその熱源材料供給の
50%が町の農林業経営者や住民であること
・すべてのプロジェクト参加者がエネルギー発電所の株主であること